

VI 海外大学・機関との交流
(年次報告(平成26年度後期・27年度前期))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-06-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松田, 紀子, ライアン, 優子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00009664

VI 海外大学・機関との交流

松田 紀子／ライアン 優子

1. 大学間・部局間交流協定

当該期間に、次の3件の大学間協定、および5件の部局間協定が新たに締結された。

- ▶ ハノイ国家大学外国語大学 (H. 26. 11)
- ▶ キングモンクット工科大学トンブリ校 (H. 27. 3)
- ▶ チェンマイ大学 (H. 27. 4)

- ▶ ボゴール農科大学 (H. 26.11, 農学部・農学研究科)
- ▶ 天津農学院 (H. 26. 12, 農学部・農学研究科)
- ▶ 西南物理研究院核融合科学センター (H. 27. 3, 理学部・理学研究科)
- ▶ ヤシ農家科学獣医学大学 (H. 27. 7, 創造科学技術大学院)
- ▶ 香港科技大学理学院 (H. 27. 9, 理学部・総合科学技術研究科理学専攻)

2. 海外同窓会活動・海外における静岡県内自治体、企業との連携

国際交流センターは、各国の卒業生のネットワーク強化と、海外の活動における静岡県の自治体、企業との連携推進に努めている。

平成26年11月には、タイ、バンコク市内において静岡県主催の静岡県就職&留学フェアとの連携により、フェアへの静岡大学のブース出展をし、フェアの後に静岡大学のタイの同窓会の集いを開催した。タイでの同窓会開催は、平成26年3月の立ち上げの会に続いて2回目で、タイ在住の同窓生や企業関係者ら約70名が出席した。

日 時：平成26年11月22日 (土曜日)

10：00～16：00 静岡県就職&留学フェア

17：30～20：30 静岡大学海外同窓会タイ支部交流会

場 所：Pathumwan Princess Hotel

海外同窓会タイ支部交流会：

■内 容：

静岡大学、静岡県庁、タイの協定大学の代表者の挨拶、同窓会長による活動報告、同窓会のロゴの決定等を行った。また、静岡大学より、アジアブリッジプログラムの紹介と出願案内が行われた。同窓会長と同窓会の副会長であるタイコイトカンパニーの中澤氏の呼びかけで、同窓会が行っているタイの農村の小学校への寄付活動等への募金が集められた。

本同窓会での交流をきっかけに、後日、平成27年3月18日に、静岡県経済産業部企業立地推進課運営の静岡県経済視察団が、静岡大学協定校のキンモンクット工科大学トンブリ校に訪問をした。

■参加者 (71名)

○同窓生：

同窓会長：Dr. Pongphen Jitareerat (連合農学研究科博士課程卒、キングモンクット工科

大学トンブリ校KMUTT助教) 他、約25名

○協定校関係者：

- カセサート大学KU：理学部長 Prof. Dr. Supa Hannongbua
- タマサート大学TU：東アジア研究所副所長 Mr. Apinant Phongmethakul、Ms. Charuporn Wongbandit (役員秘書)
- キングモンクット工科大学トンブリ校KMUTT：バイオ資源・テクノロジー学科 Dr. Varit Srilaong 准教授、Dr. Pongphen Jitareerat 助教 (元本学留学生)
- スリナカリンウィロット大学SWU：理学部 Dr. Sukhumaporn Krajangsang 講師 (元本学留学生)

○静岡県：

- 静岡県庁：西田郁夫、手老豊、島津愛子、森聡、吉住理恵子、ピヤワン・サップサムルアム
- 静岡県国際経済振興会：川下真理

○企業関係者：

- SANMEI MECHANICAL (THAILAND) CO. LTD.、CPOINT (THAILAND) CORP. LTD.、CSA FUDOSAN (THAILAND) CO. LTD.、東海熱処理(株)、TOKAI SAW (THAILAND) CO. LTD.、(株)小楠金属工業所、HAMAKA (THAILAND) CO. LTD.、SUZUYO (THAILAND) LTD.、PASSCON (THAILAND) CO. LTD.、SGS STAFFING RECRUITMENT CO. LTD.、タイコイト カンパニー、C/O UTMOST Logistec (Thailand) Co. LTD.、静岡銀行、浜松信用金庫、浜松市役所 (ジェットロバンコク駐在)

○JASSO Thailand Office：

- Ms. Nuntaporn Chuenkrathok、Ms. Monthira Jungpanit

○静岡大学：

- 石井理事、金原教授、徳山教授、ライアン准教授、江神麻衣子・手塚志保 (特任職員)、永田照三・久田徳人・高橋里江・持川依梨佳 (タイ職員研修参加者4名)

3. 海外拠点整備

1) タイ海外事務所 (平成21年11月開設、タマサート大学東アジア研究所内)

平成27年4月より、非常勤スタッフが週に一日の活動を開始した。主な活動は、静岡大学のタイにおける国際交流活動支援、タイからの留学生の派遣支援活動で、アジアブリッジプログラムを中心とする静岡大学のプログラムの広報に従事している。

- タイ国元日本留学生協会 (OJSAT) 往訪
- 静岡県東南アジア駐在員との面談
- JUNE Fair (JASSO、Universities and Embassy Fair) 参加 (見学) 報告
- さくらサイエンスプランによる静岡大学への高校生派遣の支援
- Thammasat University OPEN HOUSE 2015における静岡大学ブース出展
- 高校訪問によるアジアブリッジプログラムの広報
- タマサート大学東アジア研究所総務チームとの会議

2) インドネシア海外事務所（平成22年2月開設、ガジャマダ大学UGM農学部内）

本学はインドネシアの大学・企業との関係を強化すべく、平成25年1月より非常勤スタッフ（現地相談員）を配置するとともに、Skype用スクリーンを設置し、インドネシアにおける活動を活発化させるためのインフラ整備を進めている。活動としては、本学からの教職員の現地訪問時や、毎年農学部がガジャマダ大学と協力し「海外フィールドワーク」科目として1週間の現地実習を行う際に、現地のコーディネーター等を担っている。平成27年9月には、アジアブリッジプログラムの運営を担当するグローバル改革推進室が、UGMの位置するジョグジャカルタ周辺で現地広報を実施する際に、周辺の高校・大学の紹介など様々な情報を提供するなどして支援を行った。

また、インドネシアでは、UGM内の事務所のほか、平成27年3月に、インドネシア大学工学部の厚意により提供していただいたスペースにも同様のSkype用スクリーンやパソコンを新たに設置し、インドネシアにおける活動をさらに活発化させるためのインフラ整備を進めた。

3) ベトナム海外事務所（平成27年3月開設、ベトナム・ハノイ国家大学外国語大学内）

本学は、平成26年11月にベトナム社会主義共和国のハノイ国家大学外国語大学において、Prof. Nguyễn Hoà学長、Dr. Lê Văn Canh国際交流部長、Dr. Ngô Minh Thùy東洋言語文化学部長兼日本分科長（当時。現在、副学長）ら、また本学からは学長代理として鈴木滋彦副学長（国際戦略担当）、松田紀子国際交流センター学術交流部門長が出席して、大学間交流協定の調印を行った。このなかで、ハノイ外国語大学内における本学事務所の設置が話題となり、その後、Skype用スクリーンやパソコンを本学から提供して設置するなど、ベトナムにおける活動を活発化させるためのインフラ整備を進めている。

4. Inter-Academia Asia インターアカデミア・アジア

1) インターアカデミア・アジア（IAA）第1回会議

平成26年12月1日(月)～3日(水)に静岡市内ホテル及び静岡・浜松キャンパスを会場として、「インターアカデミア・アジア2014」第1回会議を開催した。「インターアカデミア・アジア」は、アジア地域（主に東南・南アジア地域）の協定大学と連携し、アジアを中心とする海外で活躍するグローバル人材育成のための新たな教育プログラム「アジアブリッジプログラム（ABP-SU）」の実施に向けた協力体制の構築や、研究・教育における交流促進を主な目的としている。平成26年2月の設立準備会につづいて今回開催された第1回会議には、東南・南アジア地域の協定大学15大学（6か国）から教職員30名及び学生16名が来日し、静岡大学の教職員・学生を含め約80名が参加した。

初日は、伊東幸宏学長から開会の挨拶、鈴木滋彦副学長（国際戦略担当／国際交流センター長）から本シンポジウムの趣旨説明があり、次いで各協定大学の代表者から大学の概要と学生交流の取り組みなどが紹介された。その後、今後の静岡大学と各大学との「修士課程を中心とする共同教育プログラムおよびコンソーシアム構築への取り組み」について検討され、各大学の代表により合意文書に署名された。2日目は、修士課程の学生を中心に27名の研究発表（本学学生11名、海外協定校学生16名）と、ヤマハ発動機株式会社伊

藤智宏氏による特別講演が、また3日目は、静岡・浜松の各キャンパスで交流協定校との研究打合せ、キャンパスツアー等が行われ、広く教員・学生の交流が深められた。

2) インターアカデミア・アジア (IAA) 特別会合 (バンコク)

平成27年年5月28日(木)、タイ・バンコクのカセサート大学にてインターアカデミア・アジア (IAA) 特別会合を行った。会には、タイの各協定校を始め、インド、インドネシア、ベトナムの協定校の代表が出席した。鈴木滋彦副学長・国際交流センター長から会合の趣旨説明ののち、IAAのこれまでの活動について報告された。続いて、各参加大学より最近の本学との研究・国際交流活動や国際連携プログラムの取組の報告があった。本会合は、カセサート大学理学部の国際研究シンポジウムI-KUSTARとの共催で実現したもので、静岡大学とインターアカデミア・アジア参加校、並びにI-KUSTARに参加した大学・研究者との連携を深める機会となった。

○参加者：

- 静岡大学

国際交流センター：鈴木滋彦センター長、松田紀子教授、ライオン優子准教授、農学部：小川直人教授、徳山真治准教授、工学部：武石薫講師
静岡大学タイ事務所：非常勤スタッフ宍戸大作（タマサート大学東アジア研究所 教員）

- キングモンクット工科大学トンプリ（タイ）

学長補佐・国際担当：Dr. Anak Khantachawana、国際交流センター長、准教授：Dr. Varit Srilaong

- カセサート大学（タイ）

理学部微生物学科長：Dr. Nantana Srisuk、理学部微生物学科：Dr. Vichien Kitpreechanich

- SRM大学（インド）

工学部長：Dr. C. Muthamizhchelvan

- ガジャマダ大学（インドネシア）

農学部、静岡大学客員教授、Prof. Siti Subandiyah Faculty of Agriculture

- フェ大学（ベトナム）

理学部教授 Dr. Nguyen Hoang Loc

5. インターアカデミア2015

平成27年9月28日から30日までの3日間にわたり、中東欧の協定校との国際会議Inter-Academia 2015が、浜松アクロシティ・コンgresセンターで開催された。当センターの鈴木センター長、教員2名、国際交流課職員1名が実行委員として会議の企画、運営に当たった。

平成19年以來8年ぶりの静岡大学での開催となった本会議には、海外からの参加者40名以上を含む129名が参加し、中東欧からの参加大学10校のうち、アレクサンドル・アイオアン・グザ大学（ルーマニア）からVasile Isan学長が出席された。本学からは、永津雅章

会議長（創造科学技術大学院教授）をはじめ、伊東幸宏学長、石井潔理事（教育担当）、木村雅和理事（研究担当）、東郷敬一郎理事（評価担当）、渡邊修治創造科学技術大学院長、三村秀典電子工学研究所長、多くの教員、学生が参加し、最新の研究成果の発表、各国の研究者とのディスカッションを行った。2日目に行われた若手研究者のショートオーラル及びポスターセッションには67名が参加し、本学の大学院生4名が「IA 2015 Best Researchers Award」を受賞した。

会期中には、研究交流に加え、浜松地域の魅力を紹介するために、方広寺やスズキ歴史館、花の舞酒造等を訪問・見学した。最終日の夕食会では、インターアカデミアの生みの親である静岡大学の神藤正士名誉教授、荒木信幸名誉教授にご参加いただき、中東欧からの長年の協力者と共に、これまでのインターアカデミアの歩みを振り返り、更なる発展を誓った。来年のインターアカデミアは、ポーランドのワルシャワ工科大学を幹事校として、9月に開催を予定である。

7. 日本学生支援機構「海外留学支援制度（協定受入・協定派遣）」

本事業は、学生の超短期での海外派遣・受入れを推進することを目的として平成23年7月より開始された奨学金事業「留学生交流支援制度（ショートステイ・ショートビジット）」（3か月未満）を一部取り込んで、平成25年度には「留学生交流支援事業（短期受入・短期派遣）」（短期研修・研究型：8日以上1年以内、交流協定留学型：3か月以上1年以内）、ついで平成26年度には「海外留学支援制度（短期受入・短期派遣）」（双方向協定型：1セメスター以上の交換留学、短期研修・研究型：8日以上1年以内）、さらに平成27年度には「海外留学支援制度（協定受入・協定派遣）」（双方向協定型：1セメスター以上の交換留学、短期研修・研究型：8日以上1年以内）として実施されているものである。高等教育機関には、交流校との間で短期の学生の派遣・受入れの教育プログラム（単位付与を伴う）を構築することが期待され、このプログラムに参加する学生のうち基準を満たした者に、一定の奨学金が支給される。

本学では、平成25年度には5件が採択され（申請9件）延べ65名の学生（うち岐阜大学8名）が、平成26年度には6件（辞退1件含む）が採択され（申請9件）延べ58名が参加し、平成27年度には7件が採択され（申請7件）延べ99名が参加予定である。

8. 博士課程ダブルディグリー特別プログラム（複数学位制度、DDP）

本学では、当該期間に、あらたにスリ・ラマサミー・メモリアル大学（インド）、およびサンクトペテルブルグ国立工業大学（ロシア）との同覚書が締結され、計13大学との博士課程ダブルディグリー特別プログラムが展開している（アジア5校、ヨーロッパ8校）。

9. 海外教育機関との往来訪

来 訪

平成26年度後期

10/24 タマサート大学「タマサートリーダーシッププログラム」 Naris Chaiyasoot准教授、元学長 エグゼクティブチェアマン 他66名	タイ
10/26-11/3 キンモンクット工科大学トンブリ校：協定校等教員招聘プログラム 生物資源工学研究科 Pongphen Jitareerat助教	タイ
11/4 オブダ大学 Istvan Patko工学部長、Dr. Andras Medve経営学部長	ハンガリー
11/10 光科学技術研究振興財団：JSTさくらサイエンス招聘浜松キャンパス訪問 シンガポールの高校：教員3名、学生10名	シンガポール
12/1-3 インターアカデミア・アジア アジア（6か国）の協定大学15大学から教職員30名及び学生16名	アジア各国
12/3 アルバータ大学VSCP担当者来訪・説明会実施 Ms. Gretchen Dubois-Phillips 国際担当	カナダ
12/8 バンドン工科大学：浜松市長 表敬訪問 Muhammad Miftahul Munir准教授、学生5名	インドネシア
12/10 シンガポール国立大学 学生5名	シンガポール
1/26-27 タイ 高校校長一団 タマサート大学Somchai Chakhatrakan准教授（静岡大学客員教授）、サグアンジン校Prachob Leenukun校長、他28名	タイ
3/17 ガジャマダ大学 農学部 Siti Subandiyah教授（静岡大学客員教授）	インドネシア
3/24 マレーシア工科大学 Institute of Bioproduct Development, Hesham A. El Enshasy教授ほか	マレーシア
3/25 ベトナム教育訓練省 Dr. Bui Van Ga（裴文歌）教授・副大臣ほか同省局長4名	ベトナム

平成27年度前期

4/10-26 コメニウス大学 教育学部短期受入れ Lančarič教育学部准教授（英文学科長）	スロヴァキア
4/15 モンゴル国立教育大学 学長表敬訪問 Munkhjargal学長、Dulamjav国際部長	モンゴル
5/12 ワルシャワ工科大学 学長表敬訪問・教育学部懇談 R. Jabłoński教授	ポーランド
6/11 インドネシア教育大学 教育学部訪問 理事・教員6名、Dianni国際交流部長	インドネシア

6/23 ハエン大学 国際交流センター訪問、人文社会科学部・工学部懇談 Dr. A. Quesada、Dr. Jesus de la Casa	スペイン
6/29-7/15 静岡大学サマースクール 協定校学部学生 9名	韓国・タイ・ アメリカ
7/1 コンプルテンセ大学 人文社会科学部訪問 ゴメス商業・観光学部長、カスティージョ経済政策担当副学部長他2名	スペイン
7/20-28 日本・アジア青少年サイエンス交流事業さくらサイエンス プラン（グローバル企画推進室） （インドネシア）高校生6名、教員1名（タイ）高校生3名、教員1名	タイ、 インドネシア
7/23 ワルシャワ日本語学校 坂本龍太郎教頭	ポーランド
8/24 ガジャマダ大学 国際交流センター訪問 S.Subandiya農学部教授、D.Widiantoバイオテクノロジー大学院プログラム長	インドネシア
8/25 日本・アジア青少年サイエンス交流事業さくらサイエンスプラン （理学部） 国際交流センター訪問 西南物理研究院核融合科学センター・中国科学院プラズマ物理研究所 学生9名 教員2名	中国
9/17 タイ保健省・マヒドン大学 国際交流センター訪問	タイ
9/25 ブッパタール大学 国際交流センター・理学部訪問 Jensen理学部教授	ドイツ
9/28-30 インターアカデミア2015（浜松） *上記の該当記事参照	ポーランド、 ハンガリー他 多数

往 訪

平成26年度後期

10/6-10 ヨーロッパ・V4協定大学訪問：ワルシャワ工科大学、ブダ ペスト工科経済大学、ブラウンシュバイク工科大学 鈴木副学長（センター長）、センター教員1名	ポーランド、 ハンガリー、 ドイツ
10/18-19 日本留学フェア（スラバヤ・ジャカルタ） 工学研究科教員、教務課、センター教員、グローバル改革推進機構教職 員各1名	インドネシア
10/20-21 アルバータ大学訪問・交換留学説明会 センター教職員3名	カナダ
11/11-17 留学説明会、高校・日本語学校訪問、留学フェア、ジャパ ンフェスティバル*（ダナン、ハノイ、ホーチミン） 鈴木副学長（センター長）、センター教員1名・職員1名、グローバル改 革推進機構職員1名、人文社会科学部教員2名、工学研究科教員1名、 教務課1名 *袋井商工会議所との共同出展	ベトナム

11/14 ベトナム国家大学ハノイ校外国語大学 協定締結式・袋井商工会議所懇談 鈴木副学長（センター長）、センター教員1名	ベトナム
11/22 静岡県就職・留学フェア・海外同窓会タイ支部の集い（バンコク） センター教職員1名、グローバル改革推進機構職員2名、工学研究科教員1名、農学研究科教員1名	タイ
12/18-23 SRM大学、アンナ大学等訪問 佐古工学部長、グローバル改革推進機構教員1名、センター教員1名	インド
1/7-9 カセサート大学、キンモンクット工科大学トンブリ校訪問 鈴木副学長（センター長）、センター教員1名、グローバル改革推進機構教員1名	タイ
1/26-28 日本語学校・ダナン大学・日本留学支援オフィス訪問（ダナン・ホーチミン） センター教員1名、グローバル改革推進機構職員1名	ベトナム
3/2-15 米国短期派遣（日米青少年交流KAKEHASHIプロジェクト） 学部・研究科学生23名、センター教員1名・大学教育センター教員1名	アメリカ
3/26-31 アジアブリッジプログラム入試実施 グローバル改革推進機構教職員7名、センター教員2名、工学研究科教員1名	タイ・ベトナム・インドネシア・インド

平成27年度前期

4/19 留学フェア（ジャカルタ） センター教員1名、グローバル改革推進室教職員各1名	インドネシア
4/20-21 インドネシアコンピューター大学（UNICOM）学長表敬訪問、マラナタキリスト教大学日本語学科、インドネシア大学日本研究センター訪問 農学部教員1名、センター教員1名	インドネシア
5/27 サグアンジン校 訪問 センター教員1名、タイ事務所スタッフ1名	タイ
5/28-29 カセサート大学 理学部 I-KUSTAR' (The International Kasetsart University Science and Technology Annual Research Symposium) 鈴木副学長（センター長）、センター教員2名、農学部教員3名、工学部教員1名	タイ
5/28 インターアカデミア・アジア 特別会合*上記の該当記事参照	タイ
9/20 日韓理工系学部留学生プログラム推進フェア 工学部教員1名、センター教員1名	韓国